

～ 新しい公共時代の地域づくりの実践 ～

熟議ver.2.0を活用した都留市活性化コンソーシアム立ち上げについて

新しい公共時代の自立した地域社会づくりにおいて、地域を担う市民を含めた産学官民等ステークホルダーによる協働は必須である。それらを実施する協働のプラットフォームとしては“コンソーシアム”が、そして実行に係る方法論としては、①参画者による熟議を通じて、当該地域の課題のおよび解決に向けたアプローチを共有し、②コンソーシアム加盟団体を中心として構築したプロジェクトチームにて実行していくという戦略が有効であることが示唆されている。

(例：朝日通り8者コンソーシアム“ASH8”(甲府市))

本取り組みのフィールドである都留市は、3月11日の震災以降も自立した地域づくりに対して、多方面から取り組んでおり、それらを集約する場と市民との協働を強化するための核を構築するためにコンソーシアムの構築を行うこととした。

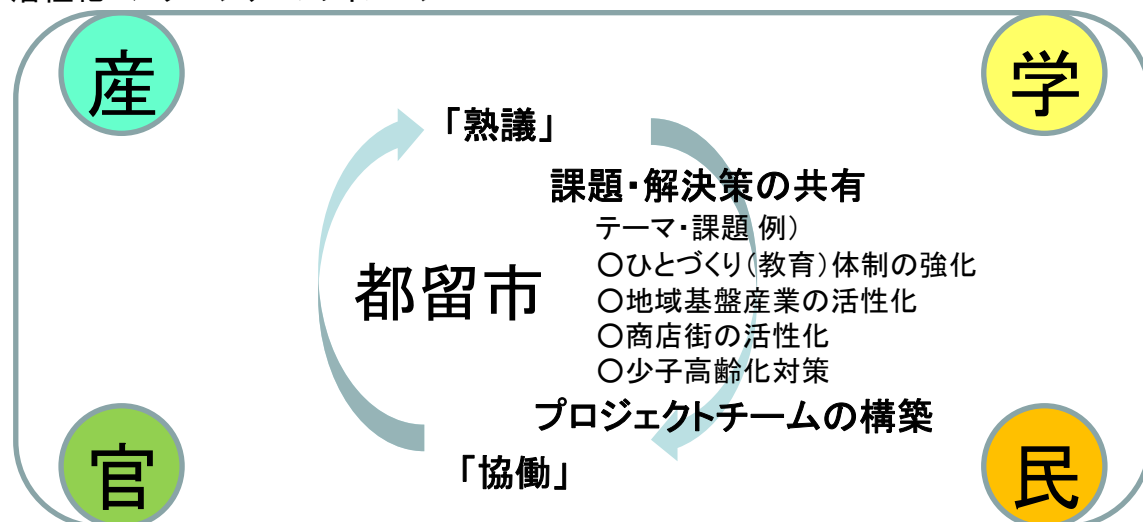
キーワード

○新しい公共時代の地域社会づくり：産学官民協働のプラットフォーム(コンソーシアム)、熟議ver.2.0※1

○学びあいをベースとした取り組み：地域の学校(小・中・高・大学)、生涯学習施設の活用・連携

※1：多様な担い手による熟慮と討議を通じ明確化された課題と解決策を協働により実施すること。

都留市活性化コンソーシアムのイメージ



「熟議と協働によるPDCAの実施」

「正の相乗効果“スパイラルアップ”を生み出す」

マルチステークホルダーによる、熟議・協働のPDCAプラットフォーム

本件につきまして、

日時：平成24年3月18日(日)17時～19時

場所：都留文科大学 コミュニケーションホール2F(都留市田原3-8-1)にて

○都留市活性化コンソーシアムの立ち上げ・説明会

○熟議 1部：都留市の未来を見つめたうえでの課題とは何か。

2部：産学官民協働による解決策とは何か(仮)を行います。

年度末のお忙しい時期ではございますが、何とぞお集まりいただけますようよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 ①

都留市活性化コンソーシアム推進委員会

佐藤 洋(090-9670-8120)、志村 将史(090-6123-0247)

〒402-8501 山梨県都留市上谷一丁目1番1号

Tel:0554-43-1111

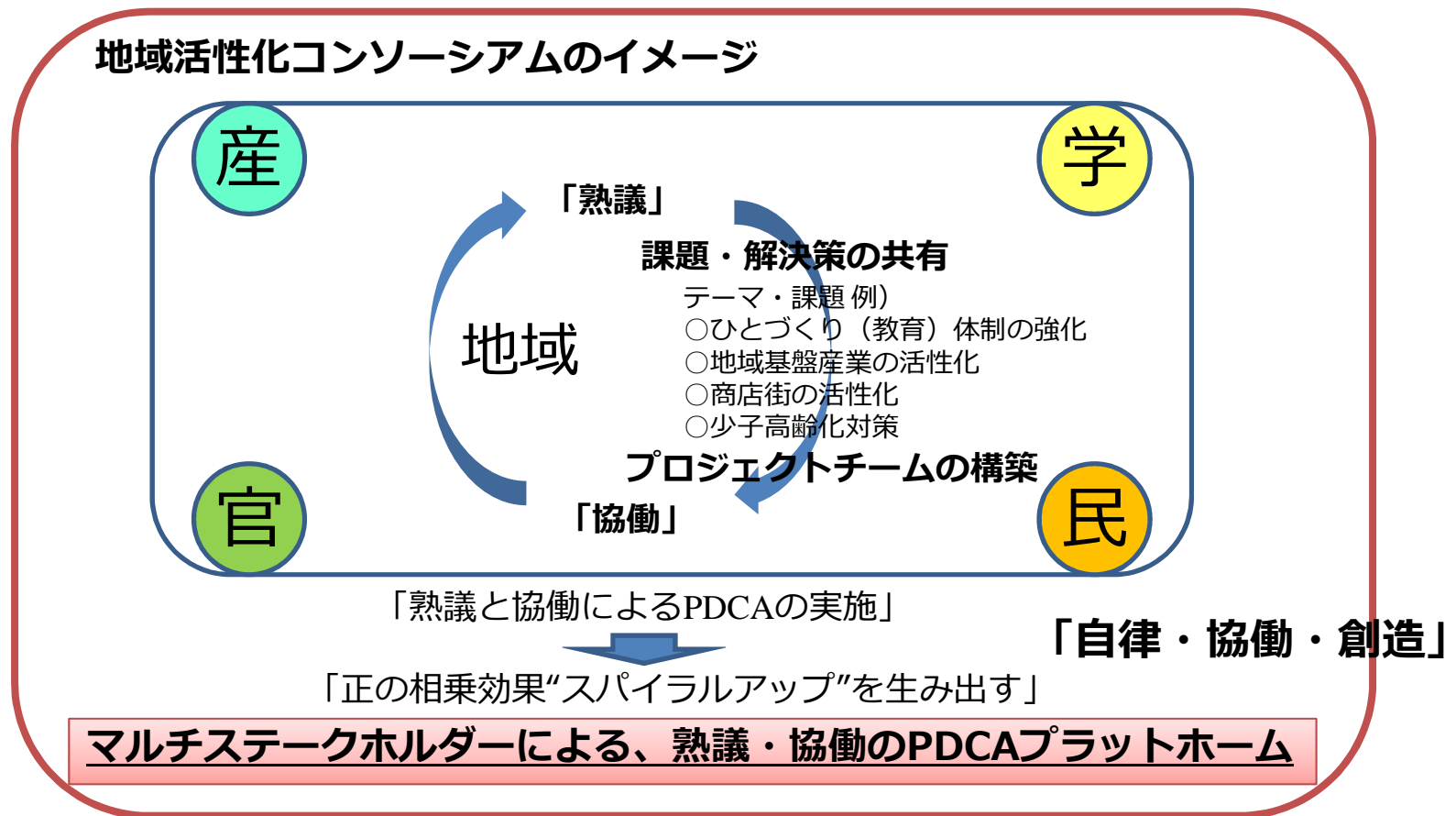
お問い合わせ先 ②

やまなしの翼プロジェクト

代表 戸田達昭

〒400-0015 山梨県甲府市大手1-2-37シルクサンシャインC105

Tel:055-220-3512、FAX:055-220-3513



熟議Ver.2.0 進め方（本日の流れ）

- ステップ1：課題を出し合う「○○が課題だね」「そうだね！」 「共有する」
- ステップ2：解決策を出し合う「こうなったら良いよね」「いいね！」
- ステップ3：実効策を出し合う「誰がこうやったら実現するよね」「そうだね！」

どんどん実行する、改良する。



- ステップ1：都留市の未来を見つめたうえでの課題とは何か。
ステップ2：産学官民協働による解決策とは何か。 「共有する」
ステップ3：誰が、どのように実行していったら実現できるか。

どんどん実行する、改良する。

～ 新しい公共時代の地域づくりの実践 ～

Re:tsuru(都留市活性化コンソーシアム)による公開熟議開催について

《概要》

本年の3月18日(日)に、70名を超える多様な担い手とともに実施した熟議において、今後の都留市を見据えたうえで課題として明確となった「学び」「仕事・産業」そして「まち」に対する解決策を、公開形式にて議論しあい、様々なプロジェクトを立ち上げていきます。

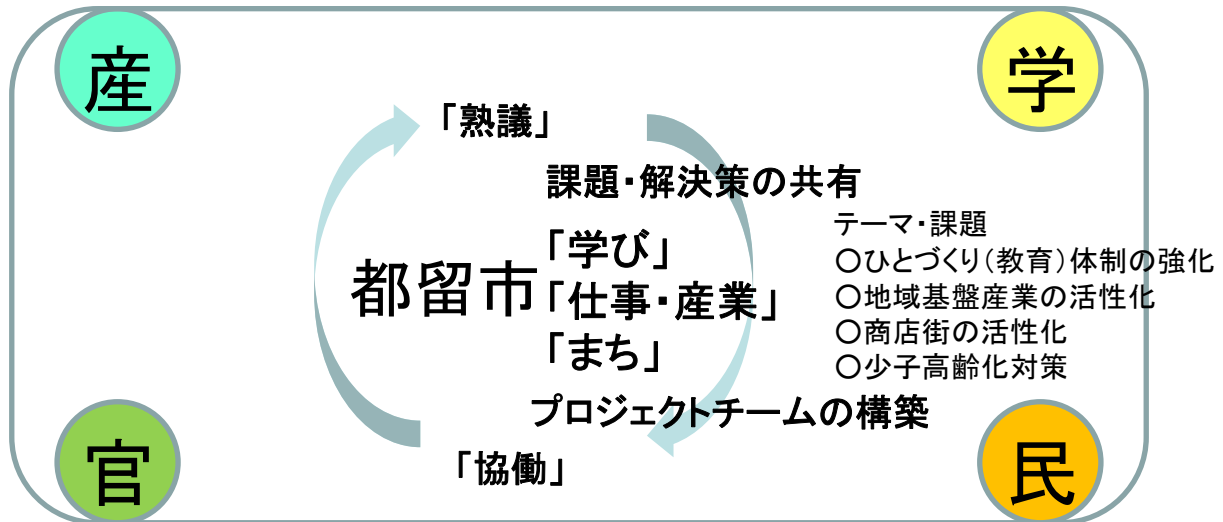
文部科学省の推奨する民意形成の方法論“熟議”...

多様な担い手による熟議のその先にあるものを、実行するプロジェクトが始まります。

キーワード

- 新しい公共時代の地域社会づくり:産学官民協働のプラットフォーム(コンソーシアム)、熟議ver.2.0※1
- 学びあいをベースとした取り組み:地域の学校(小・中・高・大学)、生涯学習施設の活用・連携
- ※1:多様な担い手による熟慮と討議を通じ明確化された課題と解決策を協働により実施すること。

Re:tsuruのイメージ



「熟議と協働によるPDCAの実施」

「正の相乗効果“スパイラルアップ”を生み出す」

マルチステークホルダーによる、熟議・協働のPDCAプラットフォーム

本件につきまして、

日時:平成24年4月14日(土)15時～17時

場所:都留文科大学 コミュニケーションホール2F(都留市田原3-8-1)にて

○熟議「学び」「仕事・産業」「まち」を題材としたソリューションプランの作成 に取り組みます。

※ 3月18日実施の熟議の内容やその後実施してきたワーキングの結果等の掲示等もごさいます。

お忙しい時期ではございますが、何とぞお集まりいただけますようよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 ①

都留市活性化コンソーシアム推進委員会
佐藤 洋(090-9670-8120)、志村 将史(090-6123-0247)
〒402-8501 山梨県都留市上谷一丁目1番1号
Tel:0554-43-1111

お問い合わせ先 ②

やまなしの翼プロジェクト
代表 戸田達昭
〒400-0015 山梨県甲府市大手1-2-37シルクサンシャインC105
Tel:055-220-3512、FAX:055-220-3513

背景と目的

都留の経済基盤の一翼を担ってきた織物産業。古くからの定住者はその存在と価値に気付いているが、大学生をはじめとした若者世代や他の地域から移住してきた者はそれに気づいておらず、気づくような機会も少ない現状がある。また、担い手不足等の産業上の課題もあり、本若者参画型によるプロジェクトにて、産地との対話の中で学びあいを通じた新たな価値の創出や各種課題の解決に向けて取り組むこととする。

企画概要

①アパレルブランドの立ち上げ

大学生と職人のコラボによるブランドの構築、新商品開発や活用シーン(新たなニーズ)の提案等を行う。

(職人と学生のワークショップを開催し、産地を学ぶ。)

大学生:都留文科大学 学生(デザイン等“糸偏産業”に興味のある学生やダンスサークル等)

コラボ: (商品開発・製造)

シナプテック株式会社(事業推進)

新たなビジネスモデルの創出へ

②ファッションショーの開催

開発した商品や活用シーン(新たなニーズ)の発表を行う。

全身のコーディネートを郡内織物にて行い、提案する。

(別案:全身商店街コーディネート)

開催時期:9月1日(八朔祭)or 10月末(産業まつり)、11月初旬 桂川祭(大学学園祭)

モデル:都留文科大学 学生

コラボ:都留市 産業観光部(会場提供、既存事業との同時開催)

山梨美少女図鑑(仮)、地元写真展、地元理容師組合(仮)

開催場所:都留文科大学(学園祭等)、生涯学習施設(博物館、公民館)

地元のお祭り

※企画内容により、スカウトチームの派遣を行う。

触れ合い・知る機会の創出へ

やまなし水源地ブランド推進協議会設立とプロジェクト発足の御案内

PROJECT1: 大手家具メーカーとのコラボレーションによる課題解決型プロジェクトの御紹介

我が国の山間地が抱える共通の課題及び解決策として、

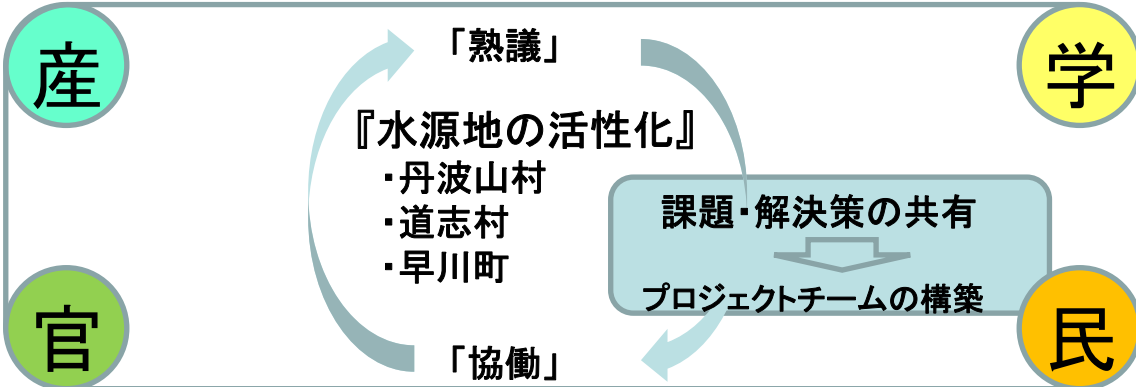
- ①崩壊する人工林の整備促進 ②間伐材の利活用・手法の確立 ③地域の担い手含む林業の復活
- ④森林資源を活用した多次産業の開発・振興 ⑤企業や都市住民含む、外部への情報発信 等が挙げられる。

本事業の対象区である丹波山村、道志村、早川町は、山間部としての上記課題に加え、他県に水資源を提供する水源地として、継続的且つ自立型モデルの構築が求められている。

しかしながら、共通の課題として、“地域のリソースのみでそれら課題を解決する事が難しい”現状がある。

そこで、新しい公共時代の地域づくりの方法として有効性が示唆されている、県内外の専門家によるマルチステークホルダーによる協議会を設立し、参画者による課題解決に向けた協働にて当該地区の活性化に取り組む事とした。当協議会1つ目のプロジェクトとして、国産材の利用拡大を積極的に行っているオフィス家具メーカー大手の株式会社イトーキ(代表取締役 社長 松井 正、大阪府大阪市)と県内製材業者等との協働による、水源地木材を活用した製品作りに取り組み、水源地の活性化に向けた、ブランドの確立による認知度の向上や、県産材の有効活用を含めた林業全体のボトムアップに資する取り組みを目指す事とした。

やまなし水源地ブランド推進協議会 ※イメージ



マルチステークホルダーによる、熟議・協働のPDCAプラットホーム

24年度第一弾として『家具や建材等における水源地ブランドの構築』プロジェクトを実施！！

※添付資料を参照下さい。

本件につきまして、

日時: 平成24年5月14日(月)14時30分 ~

場所: 山梨森林管理事務所(山梨県甲府市宮前町7-7)にて

○やまなし水源地ブランド推進協議会 発足式

○24年度水源地ブランドプロジェクト「家具や建材等における水源地ブランドの構築」事業説明会
を行います。

登壇者: 早川町 町長 辻 一幸 氏
 道志村 村長 大田 昌博 氏
 丹波山村 村長 岡部 政幸 氏
 株式会社イトーキ 代表取締役社長 松井 正 氏
 公益財団法人オイスカ 理事長 中野利弘 氏
 木 net やまなし 会長 古屋 武仁 氏

質疑応答等の時間を設けますので何とぞお集まりいただけますよう、よろしくお願いいたします。

○協議会に関するお問い合わせ先

やまなし水源地ブランド推進協議会 設立準備室

〒400-0032 山梨県甲府市中央4丁目11-9

公益財団法人オイスカ 山梨県支部 田中 美津江

Tel: 055-231-6699

○プロジェクトに関するお問合せ先

株式会社イトーキ

〒104-0042 東京都中央区入船3-2-10(東京本社)

EcoSL企画推進部 Econifa開発推進室室長 末宗 浩一

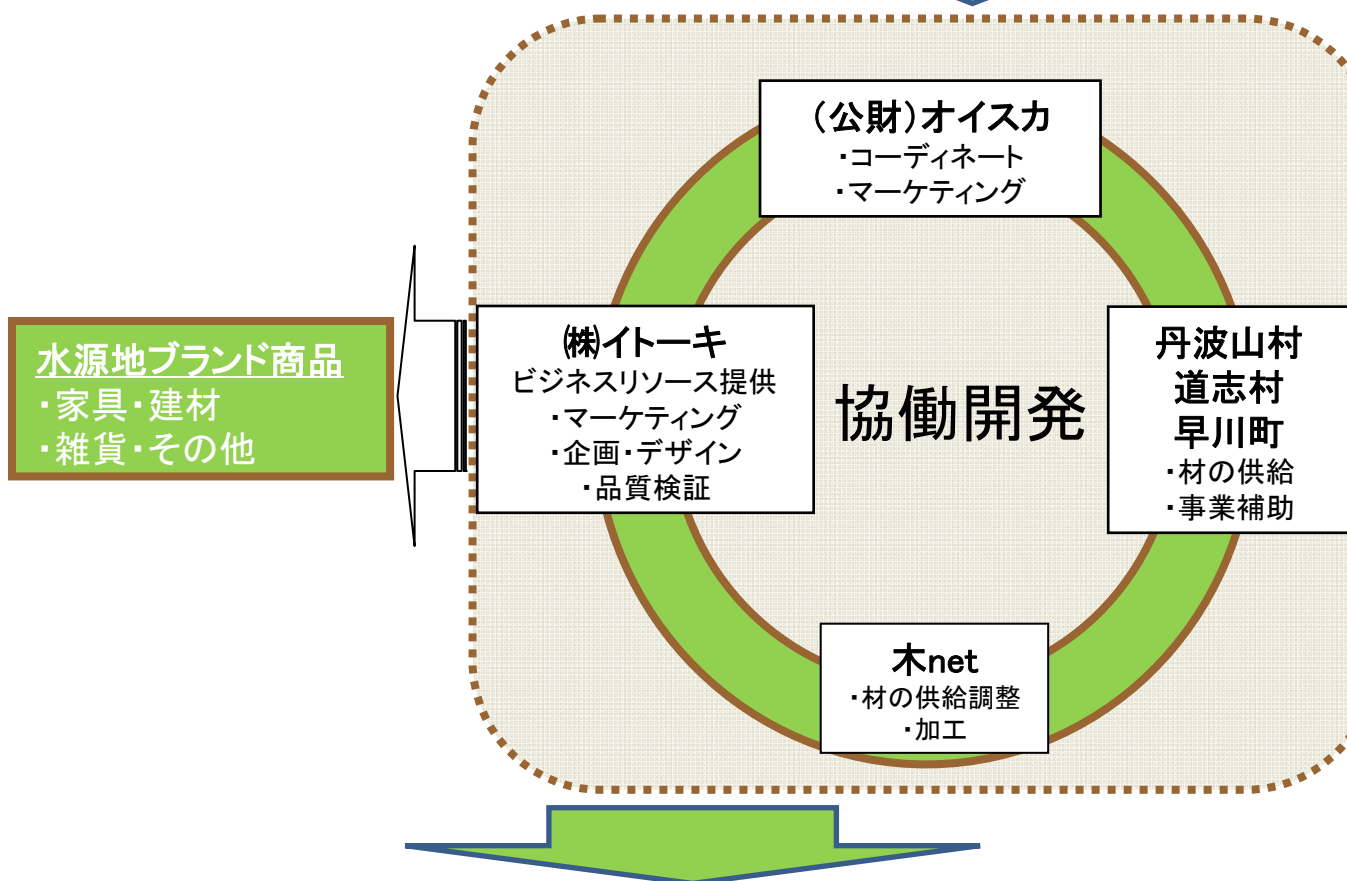
Tel: 03-5566-7400

プロジェクト I「家具や建材等における水源地ブランドの構築」 STEP 1「協働による製品の開発」

やまなしの翼プロジェクト

県内大学生・若手デザイナー

参画



- 丹波山村、道志村、早川町における林業による活性化モデルの構築。
- 県内の製材所のスキル向上。県内における林業のボトムアップへ。
- 間伐材の有効活用に喘ぐ地域に対してのビジネスモデル発信。
⇒“水源地ブランド”と“一流ブランド”のコラボレーションによる
『新たな価値の創造』

25年度

プロジェクト I「家具や建材等における水源地ブランドの構築」 STEP 2「製品の販売体制の構築」